

田尻町内遺跡群発掘調査概要13

2012.3

田尻町教育委員会

はじめに

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段は私達の目に触れるることは、ほとんどありません。地中の中で長い年月の間、遺構や遺物などの埋蔵文化財は保存されてきました。

しかし、近年開発等による掘削工事により埋蔵文化財が破壊されてきてています。遺跡には、先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の人々、更には未来の人々に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成23年度に田尻町教育委員会が実施した埋蔵文化財調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するにあたり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成24年3月31日

田尻町教育委員会
教育長 二澤 隆史

例　　言

1. 本書は、田尻町教育委員会が平成23年度に実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は田尻町教育委員会学事課文化財保護係 中野篤史を担当者として、平成23年4月1日に着手し、平成24年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の方針については磁北を示す。
4. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する。
5. 本書の執筆・編集は中野がおこなった。
6. 本書は、平成23年2月から平成24年1月までに受理した届出及び実施した調査を掲載している。

目 次

第1章 文化財調査の状況.....	1
1. 田尻町の位置と環境.....	1
2. 平成23年度の埋蔵文化財調査の現状.....	1
第2章 田尻町内遺跡群と周辺遺跡の概要.....	2
第3章 調査の概要.....	5
田尻遺跡第35次調査.....	5
田尻遺跡第36次調査.....	6
田尻遺跡第37次調査.....	7
船岡山遺跡第6次調査.....	8
報告書抄録.....	卷末

挿 図

図 1 田尻町位置図.....	1
図 2 田尻町周辺の遺跡分布図.....	3
図 3 調査地点位置図（田尻遺跡第35次調査）.....	5
図 4 調査区設定図（田尻遺跡第35次調査）.....	5
図 5 土層断面図（田尻遺跡第35次調査）.....	6
図 6 調査地点位置図（田尻遺跡第36次調査）.....	6
図 7 調査区設定図（田尻遺跡第36次調査）.....	6
図 8 Tr.1土層断面図（田尻遺跡第36次調査）.....	7
図 9 調査地点位置図（田尻遺跡第37次調査）.....	7
図10 調査区設定図（田尻遺跡第37次調査）.....	7
図11 土層断面図（田尻遺跡第37次調査）.....	8
図12 調査地点位置図（船岡山遺跡第6次調査）.....	8
図13 調査区設定図（船岡山遺跡第6次調査）.....	8

挿 表

表 1 過去5年間の届出件数表.....	1
表 2 遺跡別発掘届出件数表.....	1
表 3 届出・通知・試掘依頼一覧.....	2

図 版

図版 1 調査地全景（田尻遺跡第35次調査）	Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第35次調査）
図版 2 調査地全景（田尻遺跡第36次調査）	Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第36次調査）
図版 3 Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第37次調査）	Tr.1土層堆積状況（船岡山遺跡第34次調査）

第1章 文化財調査の状況

1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の南部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.96平方kmである。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線が走り、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樫井川が流れ大阪湾に注いでいる。



図1 田尻町位置図

2. 平成23年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町は、公共工事が減少し、また、不況下の影響により民間の小規模な分譲住宅や共同住宅等の開発も減少している。

平成23年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は個人住宅2件、民間開発等3件の計5件である。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼は今年度0件となっている。

過去5年間の文化財保護法関係の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成23年度調査地は表3のとおりである。

	個人 住宅	民間 開発	公共 工事	合計
平成19年度	2	1	1	4
平成20年度	0	2	2	4
平成21年度	2	4	5	11
平成22年度	3	7	2	12
平成23年度	2	3	0	5

(遺跡発見届出を含む)

表1 過去5年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1	田尻遺跡	4	2	7	8	3
2	夫婦池遺跡			1		
3	船岡山遺跡			1	1	
4	吉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡				2	4
8	羽倉崎遺跡				1	
9	樫井西遺跡					
10	林嵩遺跡					
11	中島遺跡					1

(遺跡発見届出を含む)

表2 遺跡別発掘届出件数表

	申請者	申 詣 地	原 因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	個人開発事業者	田尻町吉見地内	共同住宅建築	田尻遺跡	発掘調査	なし	なし
2	個人	田尻町吉見地内	個人住宅建築	田尻遺跡	工事立会		
3	大阪ガス株	田尻町嘉祥寺地内	ガス管埋設	林寄遺跡	慎重工事		
4	個人	田尻町嘉祥寺地内	個人住宅建築	船岡山遺跡	発掘調査	なし	なし
5	個人開発事業者	田尻町吉見地内	共同住宅建築	田尻遺跡	発掘調査	なし	なし
6	個人開発事業者	田尻町吉見地内	共同住宅建築	田尻遺跡	発掘調査	なし	なし

*太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3 届出・通知・試掘依頼一覧

第2章 田尻町内遺跡群と周辺遺跡の概要

田尻町内には縄文時代から近世までの11ヵ所の遺跡があり、そのほとんどの遺跡は発掘調査件数が少なく、遺跡の性格が不明のものがほとんどで遺物散布地となっている。

羽倉崎遺跡

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3 m～6 mに位置する古墳時代の遺物散布地である。古くに古代製塙土器が出土したとの記録があり、泉佐野市教育委員会による発掘調査が数回行われ90-01区の調査で江戸時代後半の陶器が出土している。

田尻町教育委員会による平成16年の調査で、耕作に伴う溝、水溜遺構、河川跡を検出している。包含層より土師器、瓦器が出土している。

船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町と泉佐野市にまたがる、樅井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土坑、柱穴が検出されている。

元は船岡山A～C地点に分かれていた遺跡であるが、調査を進めていく中で1つの遺跡であると判明し、昭和61年に3つの地点が集約され、船岡山遺跡となった。

主に、縄文時代後期～弥生時代の集落跡に位置づけでき、泉佐野市による55-02区の調査で庄内式甕や布留式甕、製塙土器、高杯形土器等を伴った竪穴住居1棟、土坑、溝を、84-03区調査時に縄文時代晩期船橋式土器、弥生時代前期土器を伴った掘立柱建物野倉庫1棟、土坑、溝を、91-03区調査で弥生時代後期～古墳時代前期の掘立柱建物倉庫1棟をそれぞれ検出し、遺物は石器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器出土している。また、同市の04-03区で遺構は出

ていないが中世段階と思われる土師質壺片、近世の土坑や溝、落ち込み等が数箇所の調査区から検出されており、各時代にわたり人々の生活がうかがえる。同市の03-01区調査で溝等とともに遺構・遺物の密度から縁辺部が判明した。

船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8m～10mに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。泉佐野市による88-01区調査で遺物が若干数と、94-01区で中世の土師器、瓦器等が出土しているが、遺構は検出されていない。

藤波遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～12mに位置する中世の遺物散布地である。平成20年度泉佐野市による発掘調査では溝、ピットが検出され、土師器、瓦器、陶磁器が出土している。

夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町と泉佐野市にまたがる、標高7m～9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。泉佐野市による昭和61年度の調査では、中世廃絶の溝1



図2 田尻町周辺の遺跡分布図 1/20,000

条、江戸時代後半に廃絶したと思われる井戸、5世紀代の須恵器を含むピット、中世から現代にいたるスキ溝が検出されている。その他、土師器、瓦器、須恵器、陶磁器等の遺物が遺物包含層から出土している。

嘉祥藩社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

吉見藩陣屋跡

田尻町の北部、旧街道（浜街道・孝子越街道）沿いの標高4m～5mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘坑などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。なお、遺跡内には大阪府指定文化財の田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

林崎遺跡

田尻町の北部、旧街道（浜街道・孝子越街道）沿いの標高2m～4mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土坑、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

中島遺跡

田尻町の中央部に所在する標高3.5～4mに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土坑、小穴、柱穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

田尻遺跡

田尻遺跡は、標高5m～7mにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。昭和60年の大阪府教育委員会の調査では弥生時代後期、古墳時代後期から奈良時代、中世の3時期の遺構・遺物が確認されている。弥生時代後期の溝が検出されている。昭和62年の調査では中世以降の農耕に伴う溝や近世以降の土坑が検出されている。平成6年の調査では中世に属する溝、土坑やピットが確認されている。

櫻井西遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～11mに位置する。昭和60年度の発掘調査で新たに発見された遺跡で、弥生時代の方形周溝墓群と古墳時代～中世の集落跡である。泉佐野市による85-01区調査から弥生時代の縦柱建物、方形周溝墓、ピット等が検出されており、特に同市の95-01区調査では、古墳時代中期の住居3棟と掘立柱建物2棟、土坑2基、溝、堀、弥生時代の方形周溝墓群（6基）、さらには1号住居跡からはカマドや貯蔵穴などが検出され、当時の生活を知る重要な資料となった。平成9年度の同市の調査では、土坑から特殊な場所でしか出土しないとされる韓式系土器が出土し、当該地が祭祀のために使用されていた可能性もうかがえる。99-01区の調査では中世の溝が検出され、屋敷の区画溝と考えられている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器などが出土しており、弥生時代～近世の幅広い時期のものが確認されている。

第3章 調査の概要

平成23年2月以降に実施した、遺跡内の試掘調査4件についてその概要を記す。

田尻遺跡第35次調査

申 請 者：個人開発事業者

調 査 地：田尻町吉見地内

調査原因：共同住宅の建築

申請面積：419.8m²

調査面積：約2m²

調査期間：平成23年2月10日

調査の概要

今回の調査は、共同住宅の建築に伴い実施した田尻遺跡第35次調査である。調査地は標高6mに位置している。

開発計画では盛土内に基礎工事が取まるため建物予定地内に1箇所の調査区を設定し、約2m²について調査を実施した。



図3 調査地点位置図（1/5,000）

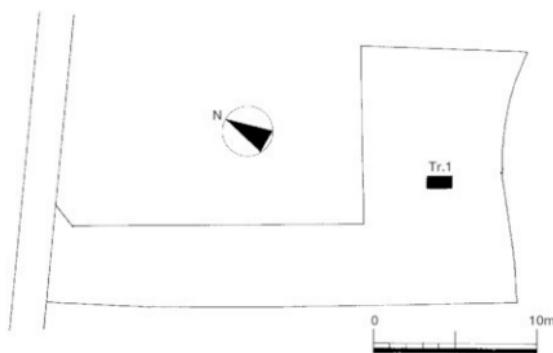


図4 調査区設定図（1/400）

調査区（Tr.1）は建築建物計画地の中央部に幅1m、長さ2mの調査区を設定し遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。

調査区の層序は上から下に①盛土（層厚約45cm）、②褐灰色土(10YR6/1)の順に堆積している。基礎工事掘削が下層に及ばないため地山は確認していない。遺物、遺構は検出していない。

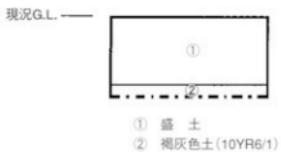


図5 土層断面図 (1/40)

田尻遺跡第36次調査

申請者：個人開発事業者

調査地：田尻町吉見地内

調査原因：共同住宅の建築

申請面積：183.22m²

調査面積：約2m²

調査期間：平成23年4月19日

調査の概要

今回の調査は、共同住宅の建築に伴い実施した田尻遺跡第36次調査である。調査地は標高6mに位置している。

開発計画では盛土内に基礎工事が取まるため建物予定地内に1箇所の調査区を設定し、約2m²について調査を実施した。

調査区（Tr.1）は建築建物計画地の中央部に幅1m、長さ2mの調査区を設定し遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。

調査区の層序は上から下に①盛土（層厚約35cm）、②灰黄褐色土(10YR4/2、総高約6cm)、③暗灰黄色粘質土（2.5Y4/2、層厚約10cm）の順に堆積している。



図6. 調査地点位置図 (1/5,000)

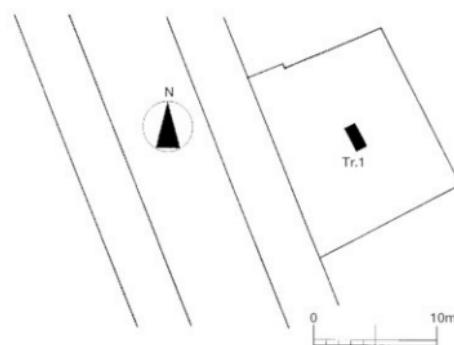


図7 調査区設定図 (1/400)

遺物、遺構は検出していない。



図8 土層断面図 (1/40)

田尻遺跡第37次調査

申請者：個人開発事業者

調査地：田尻町吉見地内

調査原因：共同住宅の建築

申請面積：165.62m²

調査面積：約2m²

調査期間：平成23年6月29日

調査の概要

今回の調査は、共同住宅の建築に伴い実施した田尻遺跡第37次調査である。調査地は標高6mに位置している。

開発計画では盛土内に基礎工事が取まるため建物予定地内に1箇所の調査区を設定し、約2m²について調査を実施した。

調査区(Tr.1)は建築建物計画地を避けて、申請地の北西部に幅1m、長さ2mの調査区を設定し遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して掘削した。

調査区の層序は上から下に①盛土(層厚約24cm)、②旧耕土(層厚約28cm)、③旧床土、灰色粘質土(7.5Y4/1、層高約9cm)、④褐灰色砂質土(10YR4/1、層厚約cm)、暗灰黄色粘質土(2.5Y5/2、地山)の順に堆積している。遺物は出土していない。遺構はTr.1の南側で土坑を検出している。

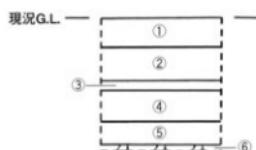


図9 調査地点位置図 (1/5,000)



図10 調査区設定図 (1/300)

今回の工事に際しては基礎工事が盛土・旧耕土内におさまるため、埋蔵文化財に影響がないで埋没保存として後世に託したい。



- ① 盛 土
- ② 旧耕土
- ③ 灰色粘質土(7.5Y4/1)、旧床土
- ④ 褐灰色砂質土(10YR4/1)
- ⑤ 暗灰黄色粘質土(2.5Y5/2)

船岡山遺跡第6次調査

申請者：個人

調査地：田尻町嘉祥寺地内

調査原因：個人住宅の建築

申請面積：100.04 m²

調査面積：約 2 m²

調査期間：平成23年 6月23日

調査の概要

今回の調査は、個人住宅の建築に伴い実施した船岡山遺跡第6次調査である。調査地は標高6mに位置している。

建物予定地内に1箇所の調査区を設定し、約2 m²について調査を実施した。

調査区（Tr.1）は浄化槽設置部分に幅1m、長さ2mの調査区を設定し遺物、遺構に注意しながら重機と人力を併用して、現況から1mほど掘削したが、湧水が著しく調査区が崩落するため掘削を断念した。

調査区の層序は上から下に①盛土、②浅黄色土（2.5Y7/3）、③灰色土（N6/0）、疊じるオリーブ黒色粘質土（7.5Y3/1）の順に堆積している。遺物、遺構は検出していない。

図11 土層断面図 (1/40)



図12 調査地点位置図 (1/5,000)

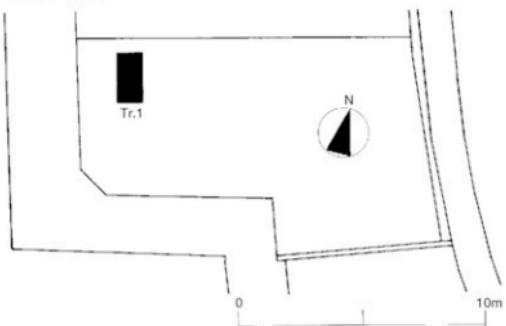


図13 調査区設定図 (1/200)

図 版



調査地全景（田尻遺跡第35次調査）



Tr.1 土層堆積状況（田尻遺跡第35次調査）



調査地全景（田尻遺跡第36次調査）



Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第36次調査）



Tr.1土層堆積状況（田尻遺跡第37次）



Tr.1土層堆積状況（船岡山遺跡第6次）

報 告 書 抄 錄

ふりがな	たじりちょうないいせきぐんはっくつちょうさがいよう				
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要				
副書名					
卷次	13				
シリーズ名	田尻町文化財調査報告				
シリーズ番号	第20集				
編著者名	中野篤史				
編集機関	田尻町教育委員会				
所在地	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 883番地1				
発行年月日	2012年3月31日				

所取遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因			
		市町村	遺跡番号								
田尻遺跡 第35次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34°	135°	平成23年 2月10日	2	共同住宅 建築			
				39'	28'						
				00"	90"						
田尻遺跡 第36次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34°	135°	平成23年 4月19日	2	共同住宅 建築			
				39'	28'						
				07"	96"						
田尻遺跡 第37次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34°	135°	平成23年 6月29日	2	共同住宅 建築			
				39'	28'						
				00"	95"						
船岡山遺跡 第6次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 かしょうじ 嘉祥寺			34°	135°	平成23年 6月23日	1	個人住宅 建築			
				39'	29'						
				05"	71"						
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項						
田尻遺跡 第35次	散布地	古墳～中世	なし	なし							
田尻遺跡 第36次	散布地	古墳～中世	なし	なし							
田尻遺跡 第37次	散布地	古墳～中世	土坑	なし							
船岡山遺跡 第6次	散布地	縄文～弥生	なし	なし							

田尻町文化財調査報告 第20集

田尻町内遺跡群発掘調査概要13

2012年3月

編集・発行 田尻町教育委員会

〒598-0091

大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺883番地1

TEL 072-466-8801

印 刷 小笠原印刷株式会社

大阪府泉佐野市新安松2丁目4-1